居安思危（こあんしき）
－安きに居て危うきを思う－

～やなせ先生と防災～

キャラクターと歌に込めた“防災のこころ”

防災をもっと身近に! 高知県の防災キャラクターをご紹介!

ご存じでしたか?アンパンマンの作者として知られるやなせたかし先生は、高知県防災キャラクターの生みの親でもあります。

彼らは、地震や津波などの災害から命を守るため、日夜、防災啓発の場で活躍しています。

たいさくくん
元気防災きっず
性格：少しあわてんぼう。

ヘルパちゃん
元気防災きっず
性格：やさしいが、少しおせっかい。

トラフ博士
国立K大学名誉教授
性格：地震の権威で物知り博士。

ゆうどうくん
トラフ博士の助手
性格：責任感は強いが、ただいま勉強中。走りには自信あり。

じしんまん
性格：とにかく人を困らせることが趣味。普段は地下の秘密基地で筋トレに励む。

つなみまん
じしんまんの手下
性格：優柔不断で一旦怒ると手がつけられない。

高知県防災キャラクター © やなせたかし

いつ発生してもおかしくないとされている南海トラフ地震。最大クラスの揺れと、それに続く津波。命を守るためには「事前の備え」と「迅速な避難」が何よりも大切です。

彼らのメッセージは、高知県発行防災啓発冊子「南海トラフ地震に備えちょき」で確認できます。「南海トラフ地震に備えちょき」は右記二次元コードで確認できるほか、南国市危機管理課で配布していますので、お気軽にお声がけください。

☑ 今すぐチェック! 地震に備えていますか?

□家具の固定、ガラスの飛散防止対策、感震ブレーカーの取り付けはできていますか?

□家族で避難場所、連絡方法を話し合っていますか?

□地域の防災訓練に参加していますか?

□非常用持ち出し袋はすぐ分かる場所にありますか?

□避難経路・津波避難場所の位置を確認していますか?

夕方5時は防災の合図 ～まちに響く「手のひらを太陽に」～

毎日夕方5時になると、市内の防災行政無線からやなせたかしさん作詞の「手のひらを太陽に」が流れます。メロディを聴くと何となくほっとする方も多いのではないでしょうか。

この放送は防災行政無線が正常に動いているか確認するための大切な放送であり、「いのち」を想うこの歌は、「防災」の想いと深く通じています。

夕方5時のメロディをきっかけに、毎日少しでも防災に意識を向けてみましょう。

「手のひら」からはじまる防災

私たちが日々過ごすこのまちには、笑い声があり、暮らしがあり、「いのち」があります。地震災害は予告なくやってきますが、備えることで守れる「笑顔」があります。

また、この歌は自分の中に確かにある「いのち」に気づかせてくれる歌でもあります。「自分のいのちは自分で守る」。それが、家族や地域の安心につながります。

・非常用持ち出し袋に何を入れるかを家族で話し合う
・災害時の連絡方法や集合場所を決めておく
・近所の一人暮らしの方や高齢者の安否を気にかける

どれも特別なことではありません。今の暮らしの延長で、少し意識を向けるだけで誰でも始められることばかりです。

ぼくらはみんな　生きている

その当たり前が続いていくように、防災について家族や地域で話し合ってみてください。

ぼくらはみんな　生きている
生きているから　笑うんだ
ぼくらはみんな　生きている
生きているから　うれしいんだ
手のひらを太陽に　すかしてみれば
まっかに流れる　ぼくの血潮
トンボだって　カエルだって
ミツバチだって
みんな　みんな　生きているんだ
友だちなんだ

（作詞：やなせたかし「手のひらを太陽に」より）
日本音楽著作権協会（出）許諾第2503228-501号

わたしもあなたも自主防災会のメンバーです

毎月21日は「なんこく防災家族会議の日」です。家庭や地域で、防災について話し合う時間を持ち、いざという時に備えましょう。

家庭でできること

各家庭で住宅の耐震化や家具の転倒防止、食料や水の備蓄、家族との安否確認の方法、避難場所の確認などを話し合い、防災力を高めましょう。

地域でできること

地域の防災力を支えている自主防災活動へも参加しましょう。

特別な資格や経験は必要ありません。このまちに暮らす私たち一人ひとりがメンバーです。できることから始めましょう。

本村タワー避難訓練

チェックシートも活用しよう!

■問い合わせ／危機管理課　☎ 088-880-6575